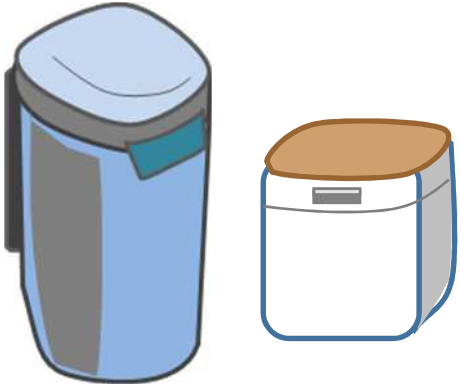
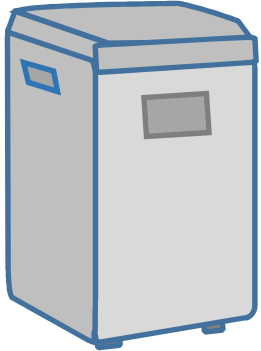
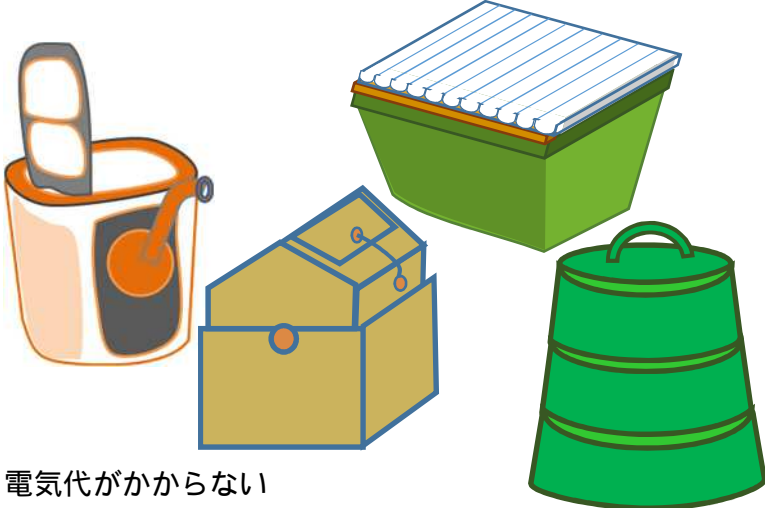


種類	電動生ごみ処理機		生ごみたい肥化容器
	加熱乾燥型	微生物分解型	
特徴	<p>加熱乾燥し減量化する</p>  <p>形状がコンパクト 脱臭装置の付いた機種では臭いが少ない 電気代がかかる 機種によっては作動音が気になる場合がある</p>	<p>微生物の働きなどにより生ごみを発酵・分解し減量化する</p>  <p>乾燥型と比べて電気代がかからない 一定期間の熟成により生成物をたい肥として利用できる たい肥化資材の追加投入に費用（ランニングコスト）がかかる</p>	<p>微生物の働きなどにより生ごみを発酵・分解し減量化する</p>  <p>電気代がかからない 一定期間の熟成により生成物をたい肥として利用できる 手作業によるかくはん（かき回し）など、一定の手間を要する 設置場所などの条件により工夫が必要となる</p>
価格	2～10万円程度	4～10万円程度	2千円～1万円程度
減容率	約6分の1	約10分の1	約10分の1
かかる処理時間	1時間30分～9時間程度	1日程度	密閉バケツ型 1～2週間程度 プラスチック容器、段ボール型 1～3ヶ月程度

あらかわエコセンター3階には、助成対象となる機器等の一部が展示されています

(荒川1丁目53番20号)



電動生ごみ処理機の例（乾燥型）



生ごみたい肥化容器（プラスチック型）の例
段ボール型もあります

清掃リサイクル事務所でも電動式生ごみ処理機を使ってみました

およそ6時間後には・・・



140gの生ごみが30gになりました

カラカラ！
パリパリ！



～生ごみ処理のいろいろ～

ポイポイくるくる

手混ぜ不要! 入れて回すだけで生ごみを分解

生ごみ「ダンポ君」

なぜ生ごみが無くなるの?

ダンポ君で使用している竹チップには多孔質という細かい穴が空いており、その穴がたくさんある微生物のすみかになっています。

投入された生ごみを微生物が食べ、水と二酸化炭素に分解します。毎日生ごみを投入してもダンポ君の中身はほとんど増えません。

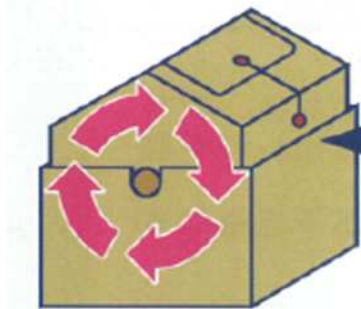
バクバク

アゲいいね!

微生物が活動するには通気性確保や水分調整がとても大切です。ダンポ君はそれらに優れたダンポール素材で出来ています。



組み立てたダンポ君本体に竹チップを投入し、米のとぎ汁で水分を含ませます。三角コーナーなどで水気を切った生ごみをダンポ君に投入します。回転させることで生ごみと竹チップがまんべんなく混ざり、さらに空気を取り込むことができるので、微生物が生ごみを分解しやすい状態（好気性発酵）にすることができます。



まんべんなく生ごみと竹チップが混ざっている様子

LFCコンポスト



家庭の生ごみを減らす暮らし LFCコンポストセットで美味しい野菜づくりを!

家庭の生ごみを減らし、美味しい野菜をつくるための堆肥(土)を作ってくれるコンポスト。「LFCコンポストセット」は生ごみの分解を速め、悪臭の発生を抑える独自の配合基材(生ごみと混ぜ合わせる原料)や水や虫の侵入を防ぐ特注のファスナーなど、初めての方から慣れた方まで続けやすい工夫を各所に施しています。1日300gの生ごみを1.5ヶ月～2か月間投入することができ、その後2、3週間ほどで栄養価の高い堆肥へと変わります。堆肥ができたらベランダで家庭菜園をつくってみませんか。

LFC専用バッグ・内袋は再利用できます。(内袋は折り返してプランターとしても利用可能)

